

どうやって作る？

どう組



子ども達は穴の開いた積み木を見て、どの向きに置くとビー玉が転がっていくのか考えて積み木を置いています。途中でビー玉が転がらず止まってしまうたり、コースを外れて飛んで行ったりすると、どこを直せばいいのか友達と声に出し合いながら修正する姿がありました。ビー玉が最後まで転がりきると、達成感や満足感を感じている様子で、楽しそうに遊び続けます。

また積み木がいくつ必要か考えたり、見ただけで同じ形であるかを判断したり、大きさが異なることに気が付いたり、形や数について遊びの中で楽しく学んでいます。

面白い・楽しいという子どもの思いを大切にしつつ、子ども達にとって新たな発見や学びに繋がる経験をたくさんしていきたいです。